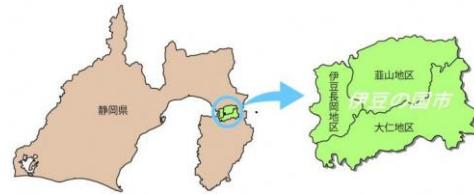


# 静岡県 伊豆の国市

静岡県伊豆の国市田京299-6(大仁庁舎)  
 担当課:保健福祉部障がい福祉課  
 〒410-2396  
 ☎0558-76-8007 FOX0558-76-8029



## 本市のデータ

(1)面積 94.71km<sup>2</sup>

(2)人口

S40国調	H17国調	H27国調	R1.10.1住基
35,443	50,011	48,152	49,778
65歳以上人口比率(17国調)			21.7%

(3)世帯数

S40国調	H17国調	H27国調	R1.10.1住基
7,898	18,370	18,677	19,985

(4)沿革

平成17年4月1日、温泉観光地として名高い伊豆長岡町、歴史資産と農産資源の宝庫である韮山町、商工業で発展を遂げた大仁町の3町が合併し、伊豆の国市が誕生しました。

(5)産業構造

区分	就業人口 S40国調	就業人口 H27国調
1次	4,191 23.9%	1,465 6.1%
2次	5,002 28.5%	6,194 25.8%
3次	8,370 47.7%	16,350 68.1%
合計	17,564	24,009

## 本市の概要

伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置しています。東京からは100km圏内にあり、東海道新幹線から伊豆箱根鉄道駿豆線、あるいは東名高速道路・新東名高速道路から、伊豆縦貫自動車道、伊豆中央道、国道136号を利用してそれぞれ1時間半程度の所要時間となっています。

本市の東側には箱根山系の山々が峰を連ね、西側には城山、葛城山といった山に囲まれており、平野部には天城連山に源を有する水量豊富な狩野川が南北に流れ、自然の豊かな恵みを楽しんでいます。また、湯量豊富な温泉資源に恵まれた温泉街を中心とした温泉旅館や周辺の史跡、展望施設、狩野川の鮎釣りやサイクリング、また、農業もイチゴ狩りやみかん狩りなど、観光を中心としたサービス業の集積があります。肥沃な土壌からなる田園等が、豊かな自然と調和した美しい景観を創り出しています。

2014(平成26)年には、願成就院「仏師運慶作の仏像5体」が国宝に指定され、翌2015(平成27)年には、「韮山反射炉」が明治日本の産業革命遺産の構成資産として世界文化遺産に登録されました。

市内では、旧石器時代から江戸時代までの遺跡が見つかっています。その中でも、古墳時代の横穴墓、源頼朝の旗揚げと鎌倉北条一族に関する遺跡、戦国時代の北条早雲に関わる遺跡、江戸時代の韮山代官に関わる遺跡が国指定史跡に指定されています。このほかにも、旧石器時代から近代に至るまでの数多くの文化財が所在しています。



木造阿弥陀如来坐像



木造不動明王及二童子立像



木造毘沙門天立像

写真提供:文化庁

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

伊豆の国市の自殺者数は、各年10人前後で推移していますが、おおむね減少傾向にあります。自殺の原因には、経済・生活問題、健康問題、家庭問題等様々な背景・要因があり、制度・慣行の見直しや相談支援体制の整備など社会的な取り組みにより自殺を防ぐことが可能であると言われています。そのためにも、庁内一体となり、また市民を交え、社会全体が連携して自殺対策に取り組めます。

### <具体的な取り組み>

#### (1) 総合的な取り組みの推進及び関係機関との連携

- 伊豆の国市いのち支える自殺対策推進本部（平成30年度設置）  
（構成：庁内12部署）  
30年度は本部・幹事会を3回、ワーキング会議を4回開催し、行動計画の策定。
- 対面型相談支援  
専門職によるこころの健康相談、市窓口にてこころの健康相談員を配置し、市民を対象とした個別相談を実施  
非常勤相談員 1名  
平日の電話相談、来所相談、訪問相談を実施  
相談件数は600件余  
月に50件余
- 普及啓発  
心の健康に関する物品を配布することにより、市民のこころの健康問題に対する意識を高める。  
障害者就労支援事業所にオリジナルの用品作成を依頼し、相談関係窓口を一覧表したものを入れ、自殺対策月間にて当市に転入した人などに配布をした  
セット数 100個  
（セット内容：エコバック、メモ帳、相談関係窓口一覧表）
- 30年度より、SOSの出し方研修を実施  
（市内2校の中学校にて2回に分けて実施） 218名  
（28・29年度はゲートキーパー研修を実施）  
  
ゲートキーパー研修会を開催 1回  
（対象：民生委員、人権擁護委員、行政相談員、一般） 12名